

大人の女性の 美を引き出す 大切なアイテムです

毎晩、寝る前にきもの本を読んでいるというはきもの好きの片桐衣理さん。本を見ているだけで気分が落ち着いて寝つきがよくなるのだそう。ベッドサイドには『櫻流きもの道』と『萬田久子感じるきもの』。そしてもちろん本誌も「愛読いたたいっているそう。女性を美しくする『衣理クリニック表参道の院長』としてテレビや雑誌でも活躍中ですが、美容皮膚科・内科医という仕事柄、大変神経を使う毎日。きものは癒しのアイテムなのです。」

場へ向かいます。「きものを着て行くことで、応援している気持ちを表現できるし、自分自身も非日常感を味わえて、その日一日を特別なものにできるような気がします」

きもの原点は幼い頃の記憶にある織に刺繍着姿のお母さま。30歳を過ぎた頃、自分が好きなきものを着られるようになることが、大人の女性の第一歩と感じて以来、親しむようになりました。

「きものを着ると普段とは所作が違ってきますよね。自然と女性らしくなるアイテムとして、時々手を通すことで、心の中から美しくなるのではないでしょうか」そう、きものは大人の女性ならではの心の贅沢なのかもしれません。

【私 の きもの ワード ロープ】



上はきもの師である森田京美さんと。下はきもの好きの仲間同士で定期的に開く食事会です。



パーティー系

ご主人好みの辻が花で華麗な一夜を

ショッピングの途中で立ち寄った呉服店で、ご主人が見立てた辻が花。夜の大きなパーティーに華やかな一揃え。帯揚げ・帯締めとともに装



安心系

年上の女性に受けがいいしつとりコーディネート

年上女性から「ホーパーティーに相かた」ときまどに安心して着られる薄い草子色の付け下げ小紋と北村武喜作の上着を帯揚げ・渡敷



大活躍

晶屑の宝塚スターに華を添える一着

観劇には、裾に淡藍色の輝しが入った薄南無色の友禅の訪問着に、黒地に金の帯を合わせて晴れやかに。帯揚げ・帯締めとともに装敷

美容皮膚科・内科医

片桐衣理さん

「華やかさものでテンションアップ」



片桐衣理さん

きものプロフィール

- きものに親しむきっかけ
記憶の中の母のきもの姿を自分が大人になって思い出したから
- 最も登場回数が多いきもの
小紋や訪問着
- きものをよく着るシーン
家族の親戚、食事会、パーティ
- 好きな呉服店
青山 八木さん、渋谷東急百貨店本店
- 将来欲しいきもの
季節を楽しむ、その時々で異なる斬新なもの
- 憧れのきもの美人
森田実美さん、真田久子さん
- ちなみに年齢は
43歳です

通好みのきものとして知られるしょうごんの生地の訪問着に縁の帯という扱いには、和装バッグよりクロコのケリーが似合いです。